



春の草地管理・飼養管理について

□早春施肥について

早春施肥の適期は萌芽期※で、施肥の時期が遅れると収量は減少します。萌芽期が近づき、ほ場に入れるようになったら、早めに施肥を開始しましょう。

町村毎の萌芽期(令和3年~令和5年)

	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町
R5年	4 / 8	4 / 11	4 / 17	4 / 13
R4年	4 / 15	4 / 17	4 / 23	4 / 19
R3年	4 / 16	4 / 19	4 / 23	4 / 21

萌芽期とは…
ほ場の40~50%の牧草が
緑に色づく頃です

萌芽期は早まる場合もあり
ますので融雪状況や気温の
推移に留意しましょう。

□スラリーの散布時期について

スラリーの散布は、サイレージを収穫する50日以上前までに行いましょう。時期が遅れるとスラリー残渣がサイレージへ混入する割合が増え発酵品質が低下します。

□ラップサイレージの点検

冬期間の保管中に鹿の食害が無いか確認しましょう。食害を受けたラップサイレージを見つけた場合は、早めに給与するか、補修するなどの対策を取りましょう。

□サルモネラ症に注意

サルモネラ症の原因菌を侵入させないためには、融雪水などの農場内への流入防止や、野生動物の駆除により侵入を防ぐ必要があります。また、異常なルーメン発酵によりサルモネラ症が発症する恐れがありますので牛がいつでもエサを十分に食べ込める環境を整えましょう。

- ・融雪水の侵入を防ぐ → 融雪水などが農場内に流入しないように簡易な排水路を施工するなどの対策を取りましょう
- ・害獣の駆除 → アライグマの繁殖時期です、ワナを設置し春先の駆除で増殖を防ぎ外部からの病原菌の侵入を防ぎましょう
- ・エサ寄せ → こまめなはき寄せで常に口元にエサがある状況にしましょう

機械の点検、整備はお早めに。
農作業事故防止に努めましょう。



HPは「宗谷農業改良普及センター」で検索、またはQRコードから